

## モモシクイガ (別名 モモノヒメシクイ、モモヒメシクイガ)

バラ科樹木の果実に潜入するイモムシ (幼虫)。最大長約14mm。体は赤く、紡錘形。

モモ、スモモ、リンゴ、ナシの果実害虫とされる。ハマナスなどの果実も食害する。



1. ナナカマド被害果実。1995/8/29. 美唄市。



2. 幼虫，老齡，体長11mm。1の被害実内から。

【学名】 *Carposina niponensis* 【英名】 peach fruit moth

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , シクイガ科 (Carposinidae)

【分布】 北海道，本州；朝鮮半島，中国，ロシア。

### 【形態】

幼虫は最大長約14mm。頭部は黄褐色。頭部のすぐ後の背面にある前胸背楯 (ぜんきょうはいじゅん) は褐色。体の背面の刺毛基板は褐色。体は黄白色，成長すると赤くなる。尾叉 (肛門下側の櫛歯状の刺毛) はない。

類似の害虫としてナシヒメシクイがいるが，この種の幼虫は尾叉を持ち，また，体の下側が白く，刺毛基板がうす茶色。

### 【生態】

幼虫はアンズ，モモ，スモモ，リンゴ，ズミ，ナシの果実を食べる。

寒冷地では年1～2回発生。老熟幼虫のとき，土中の浅いところに繭を作って越冬する。春に地表近くに移動し，再び繭を作り蛹になる。成虫は6～7月と8～9月に出現する。

### 【被害と防除】

果樹の重要害虫で，果樹園では防除が行われている。

庭木で発生することもある。被害果を摘み取って処分し，害虫の発生量を減らす。果樹以外の樹木 (ハマナスなど) の被害果も処分する。

## 【文献】

1976. 駒井古実. モモ, リンゴ, ナシの果実に食入するシンクイムシ類の見分け方. 植物防疫, 30: 245-252. (形態, 生態)
- \*1983. 上条一昭, 駒井古実, 鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報, 55: 17-21. (生態, 形態)
1986. 山口昭, 大竹昭郎, 編集. 果樹の病虫害, 診断と防除. 全国農村教育協会, 東京. (形態, 生態, 被害, 防除)

\*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

モモヒメシンクイ himehama/momohime/  
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/9/30.

1higai.jpg, 1yochu.jpg.

「写真1～2」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1995.